



看護学科

小川 千恵子 助教

【研究分野】 精神看護学

【キーワード】 精神看護学、精神科、メンタルヘルス、人材能力の可視化

【URL】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pid=310ogawa>

研究概要

人の健康と、人が生きる社会の健全な発展のためにメンタルヘルスは欠かせません。自分自身の、そして大切な人のこころの健康に関心を持ち、メンタルヘルスと精神科医療がより身近なものになることを願っています。

学校保健の分野から子どもたちのメンタルヘルスに関する研究、地域住民のいのちを守る活動の一環として自殺予防に関する研究を行っています。また、誰もが安心して精神科医療にアクセスできるようになるためには、精神科医療の質を高める必要があります。患者ケアを行う看護師の育成は重要な課題ですが、個人の経験や勘に頼るような実践では、人材の育成はできません。そこで、精神科看護師の専門性を明らかにし、人材能力を可視化するための研究を行いたいと考えています。

研究紹介

- 発達障害グレーゾーン（境界域）の子どもの行動特性と臨床的特徴
- 地域住民の自殺予防に関する研究
- 精神科看護師の専門性に関する研究
- 精神科急性期病棟における看護量に関する研究
- 精神科病棟におけるリスク評価に関する研究

講座テーマ紹介

- ゲートキーパー養成研修
自殺予防のためには、自殺のリスクにつながるような悩みに①気づき、声をかけ、②話を聴き、③必要な支援につなげ、④見守る、ゲートキーパーの役割が重要です。ゲートキーパーに必要な知識と適切な対応のための技術を学んでいただき、地域の自殺予防に貢献します。
- 高校生を対象とした出張講座
看護の仕事や大学での授業内容の一端を紹介し、看護職の活躍の場や仕事の楽しさ、興味深さといった看護の魅力をお伝えします。

アピールポイントなど

2022年度より、埼玉県救急医療審査会委員、また、ゲートキーパー養成研修の講師を務めた吉川市自殺防止対策事業に携わらせていただいております。

主に精神科の救急医療に携わった経験、また災害派遣精神医療チーム（DPAT）の隊員として訓練を受けた経験などから、メンタルヘルスと精神科医療に関わる様々な分野での課題に取り組みます。また、臨床時代の教育担当・中間管理職経験から、精神科看護師の人材能力の可視化にも取り組みたいと考えています。